



善正寺だより

〒:512-0902
 三重県四日市市
 小杉町1014
 浄土真宗
 本願寺派
 善正寺
 ☎:0593-31-1670
 ☎:0593-32-0733

掲示板法話

暗闇を照らす光は

あらゆる命を支える力となる



今年も桜の季節がめぐってきました。四月八日は花祭り、すなわちお釈迦さまの誕生された日としてご存知です。お釈迦さまが誕生と共に宣言された「天上天下唯我独尊」というメッセージは、「あらゆるいのちが、天にも地にもかけがえない唯一の存在である」という意味ですね。これは、我々仏教徒が自ら大切に、他の多くの人々と共有するよう努めなければならぬ大切な生命観です。

その精神が具体的な姿で躍動している家庭があることがテレビで報道されました。それは、NHKスペシャル「命をめぐる対話 暗闇の世界」で生きられますか」という番組でした。

ここで、「暗闇の世界」とは、意識があるのに体を動かすことも話すこともできず、意思を伝えられない、いわゆる「閉じ込め状態」のことを意味します。医療技術の進歩により、このような「閉じ込め状態」の患者さんが増え続けています。ご子息を早く亡くしたノンフィクション作家・柳田邦男さんと患者さんや家族との対話が映像で紹介されたのです。

全身の筋肉が動かなくなる難病になった照川さんは、わずかに動く筋の肉を動かして自分の意思をセンサーに認識させることにより伝えていますが、それも不可能になれば、「暗闇の世界」は生きられない。そうなたら呼吸器を外して死なせて欲しい」という要望書を医師に提出しました。我々はこうした「死なせて欲しい」という重病患者の気持ち、「やむをえないこと」ではないのでしょうか？しかし、番組の後半で登場する鴨下さん(五十一歳)は閉じ込め状態に陥って九年になります。病したとき小学四年生と一年生であった子供さんは、十八歳と十五歳になった今も以前と全く変わらない態度で「お父さん、ただいま今。帰ったよ」と声をかけます。いつもお父さんが家族の輪の中にいて、お父さんを中心に家庭生活が成り立っているのです。

介護を続ける奥さんが「よそと比べない。よそのまねをしようとは思わない。うちはこういう生活が自然で気持ちがいいのです」とさりげなくおっしゃるのには、全く頭が下がります。この鴨下さ

んと対話をした柳田邦男さんも深い感動を覚えて、「家族のぬくもりが鴨下さんの命の安定を支えている」との言葉で番組は総括されています。

この番組に仏教の「ぶ」の字も出てきません。しかし、お釈迦様の「天上天下唯我独尊」という大発見、すなわち「あらゆる命は比べることのできない、唯一のかけがえない命である」というお言葉が、この家庭の中で生き生きと輝いているのです。働けない、ものが言えない、動けない。そんなことに関係なく、お父さんの命を家族が共に支えている姿が素晴らしく尊いと思います。

「暗闇の世界」を照らし、いのちの意を再発見させてくださる光に遇うことの尊さをかみ締めたいと思います。

☆行事ご案内☆

4月17日(土)午後1時半:三全仏教婦人会主催

初参式・報恩講 (講師 加藤幸子先生)

善正寺4月例会:4月17日(土)夜7時半

総会準備の相談等、22年度新行事さん役員決めの為出席下さい

♪三重組コーラス♪

4/7(水)、5/6(木)の2回、午後1時半・智積西勝寺様で合同練習、車に分乗して参加、1時小杉発

☆四日市文化会館特別練習6/8(火)午後1時半、6/26(土)夜7時舞台でリハーサル、予定4/25愛知県体育館お持ち受け、5/20三重組仏婦総会、6/27四日市文化会館三重組お持ち受け、7/7名古屋別院音楽祭 ※陽光苑慰問は4/12(月)

◇キッズサンガ

※4/3(土)午後4時 新しいお友達を誘ってどうぞ
※毎日夕方5時鐘撞きは誰でもOK 飴・ガム付。年中無休

◇予告

※初参式4月17日(土)午後1時半、赤ちゃん大募集!千円
※5月30日(日)午前総会・午後公開法座(勤学中西智海師)

◇一總會テレホン法話059・354・14543分間法話聞けます

善正寺ホームページ「三重 善正寺」で検索。「つれづれ日記」が好評
住職と坊守の2冊目共著本「虫の眼鳥の眼仏の眼」発売中

キッズサンガの子どもたち



本願寺賞などの賞状を手に
22年度終了式の写真、笑顔!

カンパ有難う☆

石川欣也様・島本邦子様・富田和代様・松岡愛子様・澤田美智江様・小林ふきえ様・山中様・他匿名様お志・切手有難うございました。

坊守スケッチ

身を捨ててこそ浮かぶ瀬もあれ



ホームページを見たという人から身の上相談の匿名電話がかかった。「娘のことで相談したいのですが...」「娘さんを連れて寺へ起こし下さい。」後日、両親と娘さんが来訪。三十三歳の娘さんは、受験勉強にも就職試験にも勝ち抜いたエリート。男女雇用機会均等法が成立した頃に大学を出て、その就職先で男性でも難関と言われた職業に就いている。昇進試験にも見事パスして次々に新しい仕事をクリアしてきた。しかし所詮男性社会の職場。昼夜ぶつとおしの勤務もあれば、夜勤もある。生活のリズムが安定しない。命を預かる大事な仕事なので、絶えず緊張を強いられる。そこでもう一ランク上の仕事ならば、決まった時間の勤務なので、昇進試験に挑戦したが失敗。それかと言って逆戻りして楽な仕事に就きたくない。努力して勝ち取った地位を易々と手放すことは、自分のプライドが許さない。同僚で結婚した女性もいるが、週末婚で後は実家の世話を受けている。現在の仕事を続ける限り、結婚も出来ない。今まで努力をして望みを達成したが、こんな筈じゃなかったと不安。このまま緊張を強いられる仕事を続けるべきか悩んでいるという相談だった。親としては平凡な結婚を早くして孫の顔が見たい。しかし娘の頑張りを見てみると、夫に頼る

だけの生活では満足いかない娘だ。「厄年でもあるので、せめて娘に災いが降り掛からない様に、厄除けのお札か、お払いをして欲しい」と言われた。「残念ながら浄土真宗には厄除けもお払いありません。その代わりこのまま突っ走って働いたら、たちまちほころびが出て、ぼろぼろになって自爆寸前。そうなる前に、自分の心の持ち方を変えてみませんか?」と言った。「身を捨ててこそ浮かぶ瀬もあれ」という格言がある。溺れかかった時には、あがけばあがくほど深みにはまる。捨て身になって流れに身を任せれば、やがて浅瀬に到達できる。窮地に陥ったときは、自分のプライドや我執を捨てて、ゼロに帰れば、やがては浮かび上がり、広い下流に達する。そこに次の新しい道が開ける。「あなたの人生は僅か三十年余り。今まで獲得したものが人生の全てだと思っている。平均寿命九十歳の時代に、あなたの人生はまだ三分の一。『夏セミは春秋を知らず』という格言を知っている?あなたは夏の夏セミと同じ。季節には春も秋も冬もある。仕事が全てという単眼的な人生を歩むより、人生には幅も奥行きも長さもある。誰かと共に歩む人生、誰かのために生きていくのも素晴らしい。努力して勝ち取ったものを今捨てても、いつかは無駄

ではなかったと思う時が来るから大丈夫よ!」と励ました。彼女の顔にぱっと光がさし、何か生きるヒントが見つかったのか元気に帰って行った。

☆寄稿

☆四日市市川崎孝一
☆闘病の孫合格と聞きし午後五つ先まで 信号の青

☆老いて今 出来ない癖に あれやこれ 見果てぬ夢を 未だ追いつつ

☆挨拶で 「ええ日やなあ」と言う人が 減ってきたなあ 伊勢弁のなあ

☆信じれば 浄土有り 阿弥陀さまに 抱かれる

☆ホットニュース

☆3月14日夕刻、東坂部伊藤嘉英様の自宅が全焼の被害。トマト屋さんとして皆様に愛され、報恩講には大根や酢漬のタクワンを毎年ご寄進。永代経で火事見舞いのカンパを集めました。皆様からの尊いお志に感激されました。皆様の協力に感謝いたします。

☆住職と坊守の2冊目の共著本『鳥の眼・虫の眼・仏の眼』(自照社刊)好評発売中!挿絵は門徒の服部雅之氏(定価1260円を著書割引千円で特別販売)

☆4月17日(土)午後1時半、初参式(三全仏婦主催)の乳幼児を募集中心!参加費(千円)記念品、写真、赤飯進呈。

♪三重組コーラス♪

☆陽光苑4月12日(月)38回目
☆智積西勝寺様での合同練習2回

※4月7日(水)午後1時半
※5月6日(木)午後1時半
小杉は午後1時に、車分乗して出発

☆四日市文化会館で合同練習
6月8日(火)午後1時半第3練習室
6月26日(土)夜7時直前リハーサル

☆平成22年度前半コーラス行事
☆4月25日(日)東海教区お持ち受け法要・愛知県体育館・組曲正信偈

☆5月20日(木)午後、三重組仏婦總會(下海老明林寺)音楽法要

☆6月27日(日)三重組お持ち受け法要・四日市文化会館・音楽法要、「しんらんさま」念仏チケット千円発売中

☆7月7日(水)名古屋別院音楽祭
※7月31日(土)夜から小杉練習が

従来通り毎月最終土曜日夜あります。
※今年も11/22京都西本願寺「御堂演奏会」8回目の出演予定

☆善正寺のホームページ・三重善正寺で検索可。毎日更新の「住職と坊守のつれづれ日記」が好評。開設1年8ヶ月で1万9千以上アクセス達成!

お悔やみ申し上げます
☆服部みつとみ様(3月6日亡・93歳・高角) 合掌

☆佐藤千代様(3月20日亡・97歳・小杉) 合掌

キッズサンガ・杉の子合唱団
◇4月3日午後4時より。お友達誘って来てね!夕方5時の鐘撞きは毎日。

桜満開の季節を迎えました。桜は様々なことを思わせてくれます。垂坂山で樹に大きな空洞ができてかろうじて立っている桜が、今年も花を咲かせてくれました。きつと根がしっかり張って、四季の移り変わりや大地の恵みがこの木に生きる活力を与えたのでしよう。去年一緒に桜を見た人と、今年も一緒に見られますか？たとえ姿が見えなくても、春になればあなたの心の中に思い出となって蘇り、あなたを励まして続けて下さいます。「いつまでも泣いていたら、ダメ心配しなすも大丈夫。私の分までも子供達に大切なことを伝えて欲しい。」高齡の母を見送った方が葬儀後「棺に母を入れる時、母の手の指が全て外に曲がっていることに気付きました。辛い農作業を多くの子供達を育てる為に頑張り張って働いた一生でした。」と言われました。ここにも確かないのちの伝達があります。「あたりまえ」と思っていたことがありがたしと受け取れたいのちのメッセージです。桜と共にお浄土に旅立たれた方は、あなたが「なまんだぶ」と唱える時、あなたの心の中に還ってあなたを励まし見守り続けて下さいます。仏様の現住所はあなたの中の心の中にあります。四月の予定として、4月(土)午後「初参式・降誕会」(三全仏場(禮)その日の夜例会(新行事)と役員決め、総会準備等)4月25(日)東海教区お符ち受け法要(愛知県体育館・三重組クラス6名参加)。初参式の赤ちゃん大募集中です。皆様の協力よろしく願います。

平成二十二年四月 善正寺坊守輝 合掌